

報告事項才

教材開発事業に係る第 期ドリルの完成について

教材開発事業に係る第 期ドリルの完成について、別紙のとおり報告します。

平成23年4月14日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

教材開発事業に係る第 期ドリルの完成について

教育センター

1 教材開発の趣旨

県内小中学生（特別支援学校を含む）の国語、算数・数学における基礎的基本的な知識や技能の定着と学習習慣の確立をめざし、本県独自の教材開発を行う。

2 教材作成の経過及び今後の予定

平成 22 年度	<ul style="list-style-type: none">・協力校：小1～小4に第 期ドリルを配布（4月）・協力校以外：第 期分を教育センターホームページに公開（4月）・第1回教材開発検討委員会（5月）・協力校での第1回目の試行実施及びアンケート実施（8月）・第2回教材開発検討委員会（9月）・協力校での第2回目の試行実施及びアンケート実施（12月）・協力校での第 期ドリルの活用状況アンケート実施（1月）・第3回教材開発検討委員会（2月）・国・算（数）ともに小5～中3の第 期ドリルが完成（3月）
平成 23 年度	<ul style="list-style-type: none">・協力校：小1に第 期ドリルを、小5～中3に第 期ドリルを配布・協力校以外：第 期分を教育センターホームページに公開・小1～中3までのドリルの内容の加筆修正・訂正を蓄積・県内小、中、特別支援学校にドリルを3部ずつ配布予定

3 教材の特徴

（1）小1～中3までの段階を2期に分け、分冊

学年の進行に即して見通しが持てるよう、第 期（小1～小4）と第 期（小5～中3）に分けた分冊とする。

児童・生徒の興味関心や自らの学習進度に合わせて学習に取り組み、個々の学習習慣の確立に役立つものとする。

（2）基本から発展へ教科書の学年にとらわれない内容

基本は該当学年の内容を中心としながらも、上位学年の内容も発展として盛り込む。

（3）児童・生徒の実態を踏まえながら、鳥取県らしさを加味した教材

鳥取県の風土や文化に親しみを持ち、郷土とのつながりが身近に感じられる内容を加味する。

（4）問題編に対応した解答編

児童・生徒が自分で解答の確認ができる解答編を作成する。

4 教材の活用促進

（1）広報

- ・「とっとり夢ひろば」への掲載
- ・校長会への働きかけ
- ・各学校のホームページにバナーの貼り付けを依頼（予定）

（2）効果的な活用のあり方についての検討

- ・教材開発検討委員会等において検討



小学5年生～中学3年生

とっく〜ドリル

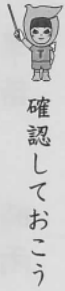
国
語

2



チャリン





確認しておこう

「まるで〜のようだ」「〜みたいだ」という感じから、ある物事の性質や様子を、それと似たものや、似たところのあるものを使って表現することを比喩といいます。

☆ 左の写真を見て感じたことを、比喩を使って表現してみましょう。



まるで、

のような、らっきよう畑。

右の形で書きにくい場合は、この欄に自由に書きましょう。

☆ 左の写真を見て感じたことを、比喩を使って表現してみましょう。



コハクチョウが、

みたいに羽ばたいている。

☆ 次の慣用句は比喩からきたものです。どちらかを選んで文を作りましょう。

○ 借りてきた猫

○ 蚊かが鳴くよう

鳥取の文学散歩

香川 景樹かげき 歌人（一七六八〜一八四三）

香川景樹は江戸期の歌人です。鳥取藩士荒井小三次の次男として生まれました。父を亡くして伯父である奥村定賢の養子となりました。二十六歳の時、妻を伴って京都に出て、苦学しました。一七九六年、歌の師匠であった香川景柄（かげもと）の養子となりました。一八〇四年、香川家を離縁されて独立しましたが、引き続き香川姓を名づけることは許されました。彼の率いる一派は「桂園派（かつらそのは）」と呼ばれ、晩年には門弟一千を数えるまでに成長しました。そして、明治時代に至るまで、歌壇に大きな影響を与え続けることになりました。

大堰川おほみがわかえらぬ水に影見えて

ことしもさける山桜かな『桂園一枝』

大井川、その再び帰ることなく流れる水に影を映して、今年も咲いた山桜であるよ

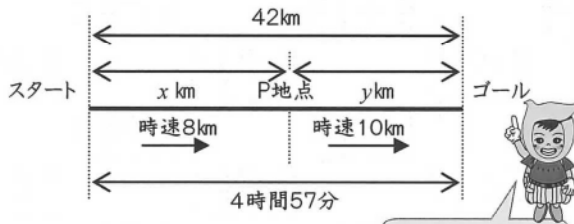
参考 ウェブサイト「やまとうた」

☆読み仮名を書きましよう。

（ ） （ ） （ ） （ ）
養子 師匠 門弟

1 けいこさんは鳥取マラソンで初のフルマラソンに挑戦します。完走をめざして次のような作戦を立てました。スタートから、途中のP地点までの前半は時速8kmで走り、P地点からゴールまでは時速10kmで走ることになりました。コースの全長を42kmとすると、この計画なら4時間57分でゴールすることができます。

時速8kmで走った道のりを x km、時速10kmで走った道のりを y kmとして次の問いに答えなさい。



(1) 次の表の空欄をうめて、数量の関係をまとめなさい。

	スタート～P地点	P地点～ゴール	合計
道のり(km)	x	y	42
時間(時間)			$\frac{297}{60}$

(2) (1)を参考にして、連立方程式をつくりなさい。

4時間 → $\frac{240}{60}$ 時間
57分 → $\frac{57}{60}$ 時間
だから、……

(3) (2)でつくった連立方程式を解いて、スタートからP地点、P地点からゴールまでの道のりをそれぞれ求めなさい。

(4) 鳥取マラソンでは制限時間があります。27km地点の第4関門(青島大橋前)では、スタート後3時間50分までにここを通過しないと競技を続けることができません。計画どおりのペースで走ると、けいこさんはこの関門を無事に通過できるか答えなさい。(その理由も説明しなさい。)

2 境港駅から岩美駅まで120kmあります。境港駅から岩美駅まで車で行くとき、境港駅から道の駅はわいまでを時速40km、道の駅はわいから岩美駅までを時速60kmで行くと、2時間36分かかった。境港駅から道の駅はわいまでを x km、道の駅はわいから岩美駅までを y kmとしてそれぞれの道のりを求めなさい。



2時間は $\frac{120}{60}$ 時間
36分は $\frac{36}{60}$ 時間だから、2時間36分は $\frac{156}{60}$ 時間になるよ。

3 平成2年度の鳥取県内中学校生徒数と小学校児童数の和は75500人だった。平成22年度は、平成2年度と比べ、小学校児童数で34%、中学校生徒数で38%それぞれ減り、小中学校合わせて27211人減っている。

平成2年度の小学校児童数を x 人、中学校生徒数を y 人として、次の問いに答えなさい。



x 人の $\square\%$ は $x \times \frac{\square}{100}$ (人) だよ。

(1) 次の表の空欄をうめて、数量の関係をまとめなさい。

	小学校児童数	中学校生徒数	合計
平成2年(人)	x	y	75500
平成22年度減少分(人)			27211

(2) (1)を参考にして、連立方程式をつくりなさい。

(3) (2)でつくった連立方程式を解いて、平成2年度の小学校児童数と中学校生徒数をそれぞれ求めなさい。